



通勤形電車(1950年代)
ヨモギ色ツートン



通勤形電車(交直両用)
エメラルドグリーン単色



通勤形電車(直流専用地上線)
エメラルドグリーン
白帯(~6000系)
→アイボリー肩塗り
茶アクセント(9000系)



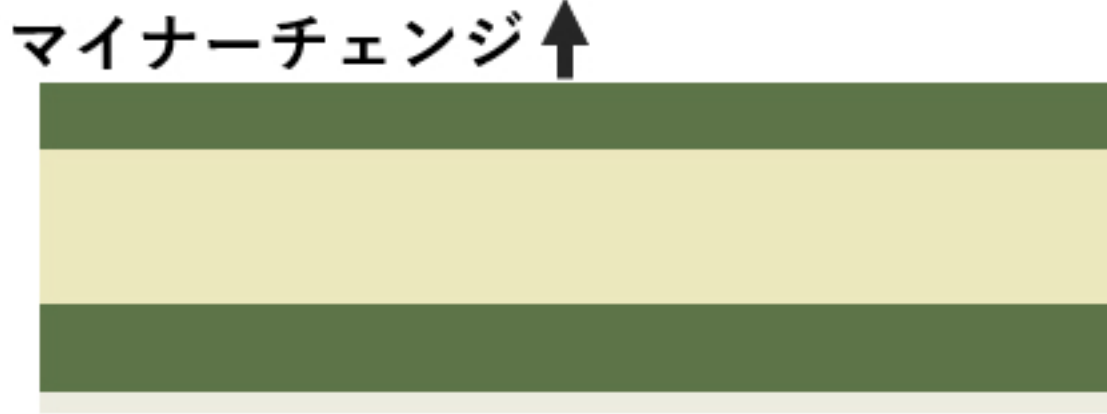
通勤形電車(直流専用地下鉄)
エメラルドグリーン
白青帯(~5000系)
→アイボリー肩塗り
青アクセント(1000系~)



急行形電車
エメラルドグリーンと
アイボリー
窓周りダークグレー
黄土色アクセント(7000系)
→こげ茶アクセント(2000系)

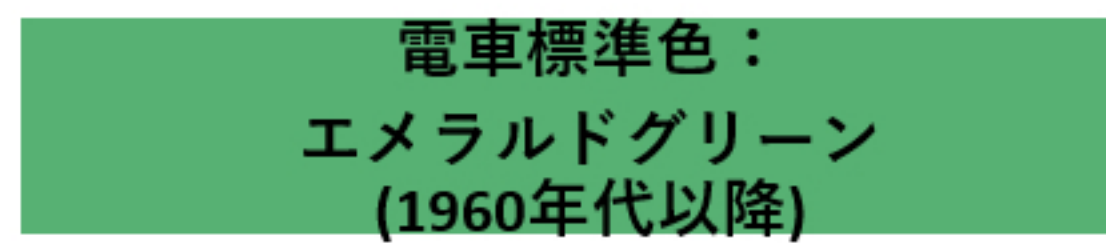


本社管内中距離列車
(2018~)
草色とパールアイボリーの
ツートン



本社管内中距離列車
草色とアイボリーのツートン

マイナーチェンジ↑



電車標準色：
エメラルドグリーン
(1960年代以降)



列車標準色：
草色(奥武グリーン)

電車 / 列車の違い

奥羽越鉄道の伝統色→



秩父地域色：
黄緑+紅色



会津南会津地域色：
あかね色

地域限定色

降雪時の視認性から→



秩父方面快速電車
アイボリーと
ダークエメラルドグリーンツートン
窓周り黄緑
紅色アクセント



キハ100
(会津/南会津支社管内専用車)
あかね色とアイボリーのツートン

30000系客車
あかね色とウォームアイボリー
のツートン

結果として一形式のみの異端色!!→



特急形電車
あかね色とシャンパンゴールド
ツートン
窓周りダークグレー
20000系には山吹色アクセント

会津南会津地域色から派生→

基本的な考え方